

2/10 朝日

PCR検査 繁華街で1日1万件

新型コロナウイルス感染症の拡大の予兆を探るためとして、政府は東京都や大阪府などの繁華街で、不特定多数の人を対象に1日計1万件以上、PCR検査を始める。

10都府県で継続中の緊急事態宣言を解除した後を想定し、繁華街にある施設などで、来場者らに観察のためのPCR検査を行う。検査費用は政府が負担する。結果を分析して、感染拡大の予兆があるか探るという。

また、SNS上の様々な投稿を人工知能（AI）で分析し、感染拡大の前

政府負担 東京・大阪など

触れを把握できるか検証する。例えば、ある地域で「熱がある」との発信が増えたり、「飲み会に行こう」との話題が盛り上がりしている状況を分析するという。西村康稔経済再生相は9日の閣議後会見で「大都市部から地方に（感染が）広がるので、東京・大阪などの繁華街で一日も早くモニタリング検査を開始できるよう早急に体制を整えたい」と話した。

9日の閣議で、実施に必要な予算約81億円を予備費から支出することが決まりたという。

（中田絢子）